

守るために 制度を導入

私たちは、静かで住みやすく快適な生活を望んでいます。そうした環境の中で、「ごみの不法投棄や隣近所での野焼きに不快感を抱いたことはありませんか。安平町では、そのような状況を早期に発見するとともに、違法な行為を未然に防ぐことを目的に町民の方の中から監視連絡員（さわやか環境マスター）を任命し町内をパトロールすることにしました。11月2日に役場早来庁舎で認定書の交付式と打ち合わせ会議が行われ、町内の実情や今後の取り組み方について話し合われました。

小悪を放置すれば大悪に

「ブロウクン・ウインドウ理論」という言葉をご存知ですか。日本語に直訳すると「割れたガラス窓の理論」といいます。

誰も住んでいないアパートの窓ガラスが何かの拍子で割れ、管理者が修繕せずそのまま放置していると、そこは誰の目も届いていないと周囲の人に受け取られ、中では軽微な犯罪が発生。次第に犯罪がエスカレートし、社会全体に波及することになるといふ犯罪心理学の理論です。

この理論を逆を利用して成功したのがアメリカのニューヨーク市だと言われています。当時のニューヨーク市長は、



誰かが捨てた1袋のごみが...

市の犯罪発生率を抑えるため、空き家や乗り捨てられた車の窓ガラスが割れているのをなくし、地下鉄の落書きを徹底的に消しました。

その結果、犯罪が60%も減少したそうです。

つまり、常にきれいにされた敷地や町内は常に監視されているという意識が働き犯罪が発生しにくいと言えます。軽微な犯罪への迅速で厳格な対応が犯罪の抑止力になった事例です。反対に、些細な犯罪を見逃すと将来大きな代償を払わなければならないおそれがあることを物語っています。

ごみの不法投棄は犯罪です

ある公道の駐車場では、コ

安平町さわやか環境マスターの皆さん

追分地区



長野 伸治



喜井 智子



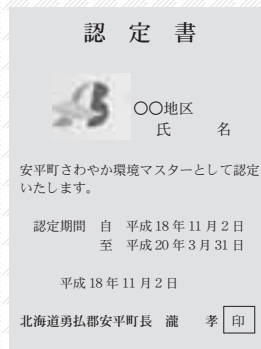
佐賀 靖雄



吉本 信昭



町田 道夫



交付された認定書